

# ともにツクルミライの姫路

この先姫路はどうなる? どうする? どうつくる? これからの生活や仕事の中で気になる人も多はず。

そんな皆さんと一緒に、姫路市が **これからの10年間で目指す姫路の姿** をちょっと見てみましょう。



## みんなでつくりたい! こんな姫路

### 未来さんファミリー

両親は遠方で、仕事と出産・育児の両立大変かなと思ったけれど…

**職**場ではテレワークやフレックス勤務が導入されていて、学校行事や妊婦健診の時など、夫婦ともに積極的に利用しています。  
学校ではタブレットを活用した授業や体験学習、企業・大学と連携したキャリア教育などもあって、子どもも楽しそう。親としてもうれしいです。

### ヒメジさん夫婦

定年退職して10年、子どもたちも独立これから夫婦二人、有意義に過ごしたい…

**地**域のために何かしたいと思い、子どもたちの登下校時の見守り活動やまちの美化活動に参加し、子どもたちから毎日元気をもらっています。  
最近では、住民同士で考える地域のまちづくり活動にも参加しています。

### トモさん親子

足が不自由な母親を介護しながら、最近、夢だったカフェをオープン生まれ育ったまちにも貢献できたらいいな…

**異**業種交流の場でいろんな業種の方と知り合いました。そこで仲良くなった東京からUターンしてきた女性をスタッフに誘い、カフェを運営しています。  
また、農家の方の協力で地場産品を活かしたメニューを開発。次は新たな姫路のお土産づくりにも挑戦します。

### ツクルくん

市内の大学に通う大学3年生就職のことを考えたり、留学生の友人をサポートしたり…

**姫**路で暮らす外国人への生活相談や情報発信が充実していて、留学生の友人たちも安心して暮らしています。姫路には歴史や伝統文化を体験できる場所やサービス、おいしい食べ物がたくさんあって、先日遊びに来た友人の家族も満足してくれました。

## でも、そんな簡単に目指す姫路の姿って実現するの?

姫路市が直面する課題や世の中の流れは今、こんな状況です…

### 人口減少と少子高齢化の進行

#### 姫路市の人口推移

2015年(実績)

約**53.6**万人

0~14歳 : 7.6万人  
15~64歳 : 32.5万人  
65歳~ : 13.5万人

総人口は  
約**14%**  
↓減少

2045年(推計)

約**46.2**万人

0~14歳 : 5.6万人  
15~64歳 : 25.0万人  
65歳~ : 15.6万人

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」より作成

### 世の中の流れはその他にも…

- ✓ 市民の意識と公共サービスの変化
- ✓ 高度情報化による新しい社会の到来
- ✓ 持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた動き
- ✓ 大規模自然災害等への危機感の高まり
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の流行による社会経済情勢の変化

より多くの人々が住みたい、住み続けたいと思う魅力的なまちをつくるにはどうしたらいいのか、この先みんながまちづくりにどう取り組んでいくのか、市民の皆さんにご意見をいただきながら

## 新しい“総合計画”

をつくりました。

裏面をチェック

# 総合計画ってナニ?

- 姫路市のあらゆる分野のまちづくりの指針となる大切な計画です。
- 市が直面する課題や社会経済情勢の変化を踏まえ、今後10年間(令和3年度～令和12年度)で、**市民、地域コミュニティ、企業・団体、行政がともに目指す姫路の姿と**、その実現に向けて力を合わせて取り組むための**まちづくりの目標と方向性**を示しています。

## 総合計画で 目指す姫路(都市ビジョン)の姿と 9つの分野目標

※分野ごとに市の具体的な取組の例を挙げています。

### 環境分野

目標▶ **環境にやさしいまち**

市の具体的な取組

- ・市民、事業者、行政などの連携・協働によるまちの美化活動
- ・環境にやさしいライフスタイルと事業活動への転換の促進
- ・食品ロスの削減
- ・廃プラスチック類の排出抑制

### 観光・スポーツ分野

目標▶ **にぎわいと感動の創出**

市の具体的な取組

- ・生きた歴史・文化・魅力を体感できる観光コンテンツの充実
- ・姫路市文化コンベンションセンター(アクリエひめじ)の活用促進
- ・各種スポーツイベントの開催
- ・地元トップスポーツチームへの支援

### 市民活動分野

目標▶ **多様な主体が輝くまち**

市の具体的な取組

- ・多様な主体の地域づくりへの参画促進
- ・すべての人の人権尊重意識の高揚
- ・女性が活躍できる環境づくりの推進
- ・文化芸術を活用したまちの魅力づくり
- ・在住外国人への生活支援の充実

### 健康福祉分野

目標▶ **命・くらしの支え合い**

市の具体的な取組

- ・妊娠・出産と母子の健康を支える環境づくり
- ・質の高い教育・保育サービスの充実
- ・高齢者の学習活動や交流活動機会の充実
- ・医療機関間の情報連携の促進
- ・介護ロボットなど先進的技術の活用促進

### 教育分野

目標▶ **生き抜く力の育成と歴史文化の継承**

市の具体的な取組

- ・キャリア教育、郷土教育などの推進
- ・ICTを活用した教育や、個別最適な学びと協働的な学びの推進
- ・市内大学、博物館施設、生涯学習施設での多様な学習機会の提供
- ・歴史文化遺産を学ぶ場の充実

## 目指す姫路の姿(都市ビジョン)

都市像

### ともに生き ともに輝く にぎわい交流拠点都市 姫路

人口ビジョン

- 2030年の目標定住人口 51.8万人
- 交流人口・関係人口づくり  
(旅行者や短期滞在者、姫路にゆかりや関わりのある人)

都市構造

- 多核連携型都市構造  
(コンパクト・プラス・ネットワーク)

### 産業分野

目標▶ **世界に誇れる価値を生む地域産業の確立**

市の具体的な取組

- ・スマート農業の導入促進
- ・農林水産物のブランド化の推進
- ・ICTを活用した働き方改革の促進
- ・多様な人材の活躍に着目した企業誘致
- ・個人の創業や企業の新分野等への進出支援
- ・まちなかの公共空間の利活用と魅力向上

### 都市基盤分野

目標▶ **交流と魅力を支える都市基盤の構築**

市の具体的な取組

- ・姫路城と調和した周辺景観の形成
- ・地域を支える公共交通網の構築
- ・居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり
- ・安全な道路空間の創出
- ・手柄山中央公園の整備
- ・上下水道事業の経営効率化

### 防災・安全安心分野

目標▶ **災害等に強く安全で安心な都市**

市の具体的な取組

- ・「自助」、「共助」、「公助」の相互連携による危機管理対応力の向上
- ・救急搬送支援システムの構築
- ・住民等と連携した見守り活動の促進
- ・市民相談センターなどでの消費者相談機能の充実

### 行財政運営分野

目標▶ **市民ニーズに応じた行政サービスの提供**

市の具体的な取組

- ・市民から信頼される職員の育成
- ・関係人口の創出・拡充、移住・定住促進など「ひめじ創生」の推進
- ・市政情報の提供・公開、市民広聴のさらなる推進
- ・ICTを活用した窓口サービスの利便性向上

## はじめませんか、私たちにできること

### 目指す姫路(まち)の実現に向けて

行動指針	市民、地域コミュニティ、企業・団体、行政といった姫路市に関わるすべての主体が、ともにまちづくりに取り組むにあたって大切にしたい姿勢
●多様な個性が輝く「人」づくり	市民一人ひとりを地域の担い手として互いに認め合い、能力や経験を発揮しながら輝いて生きる人を「ともに」育てます。
●つながり、信頼し合う「地域」づくり	多様な立場や考え方を持った主体同士が互いに信頼し力を合わせあう地域を「ともに」つくります。
●世界に飛躍する「活力」づくり	姫路・播磨が持つ優位性やICT・AI等の先端技術などを活かし、世界に誇れる新たなまちの活力を「ともに」生み続けます。
●命とくらしを支える「土台」づくり	未来の市民を含め、誰もが健やかに、そして快適に住み続けられるような土台(仕組みや基盤)を「ともに」つくります。

市の取組にあわせて私たちにできること	市民	地域コミュニティ	企業・団体
	<ul style="list-style-type: none"><li>●コミュニティ活動への参加</li><li>●地域福祉活動への参加</li><li>●郷土の歴史や文化の学習と魅力発信</li><li>●環境にやさしいライフスタイルの実践</li><li>●姫路・播磨の農水産物の積極的な消費</li><li>●観光客に寄り添った「おもてなし」</li><li>●防災訓練への参加、食料等の備蓄</li><li>●市政情報の積極的な取得と発信</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●多様な主体と連携した地域づくり</li><li>●住民が主体となった健康づくり</li><li>●子どもや子育て家庭の見守り活動</li><li>●地域でのスポーツ活動を通じた地域住民の交流</li><li>●まちの美観形成や景観保全活動</li><li>●防犯・交通安全活動</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●働き方改革によるワーク・ライフ・バランスの推進や多様な人材の活用</li><li>●環境負荷の少ない事業活動の実践</li><li>●事業者の連携による新しい技術や製品・サービスの開発・提供</li><li>●公共交通による通勤や時差出勤の推奨</li><li>●公民連携による地域課題の解決やまちづくり</li></ul>

あなたの「できる」や「やりたい」が、誰かの「困った」や「やりたい」を解決するかもしれません。  
そんなシーンがあふれる未来の姫路を、ともにつくっていきましょう。

